

48

団地再生元年

まちづくりは
さとづくりへ

Sato-zukuri 48 Project

報道関係者各位

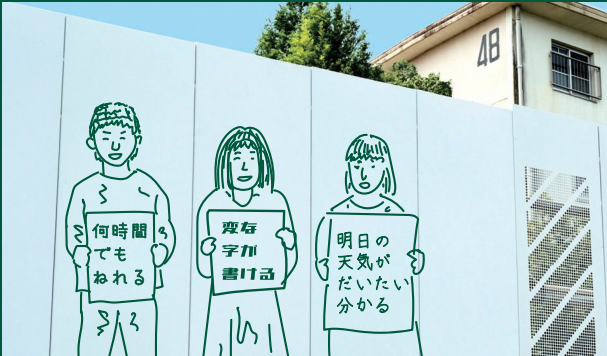


11月3日、日の里団地生活利便施設がプレオープン /
多様な「ひっさつわざ」が活躍できる
「さとづくり」始動!

宗像市日の里地区で取り組む、ハイブリッド型団地再生「宗像・日の里モデル」。団地内の既存棟を生活利便施設として利活用し、新しい地産地消を生み出すクラフトビールを生産するブルワリーや、ちいさなアイデアを形にできる DIY 工房など、地域の方々からの発信やコミュニケーションがおこる、住民参加型の環境づくりをすすめています。11月3日の施設プレオープンに向けて、地域と連携したさまざまな取り組みを予定しています。



さとの1 地域の学校と連携した「さとの、ひっさつわざ」発掘プロジェクト



日の里に住む人にとっては昔からある当たり前の風景でも、外の人が見たら特別な風景かもしれません。同じように、自分にとっては当たり前に行っていることでも、他の人からすると自分にはできない特別なことだったりします。このプロジェクトでは、そんな一人ひとりをもつ多様な特徴を地域として積極的に理解し「さとの、ひっさつわざ」と称して次世代につなげていく取り組みをおこないます。第一弾として、開発エリア近隣の日の里東小学校、日の里西小学校及び日の里中学校と連携し、子供たちが地域や社会で活躍するための「ひっさつわざ」を考える特別授業を開催。子供たちの見つけたそれぞれの「ひっさつわざ」が地域に根付いていくよう、まずは開発エリアの仮囲いを使った発信や、今後のさまざまな活動の中で、活躍の機会を創出していきます。

さとの2 「宗像のひっさつわざ？」ウォールアートで魅力を発信！



※写真はイメージです。

宗像市の道の玄関口でもある、「新王丸橋橋台」に「宗像のひっさつわざ」をデザインしたウォールアートを描画。原画となるイメージは、「日の里中学校」の美術部の方々がつくってくれました。沖ノ島や玄界灘の力強い波、市の花でもあるカノコユリなどが描かれたトンネルが、宗像を訪れる人や、宗像に帰ってくる人をお出迎えます。予定では3月にウォールアートを描く予定でしたが、コロナ禍の影響で9月26日にお披露目となります。



さとの3 生産者の「ひっさつわざ」をダイレクトにお届けする「むなかたオープンキッチンMOK」がスタート！



宗像市では、持続的な「さとづくり」の取り組みの一環として、地元の「おいしい食」を次世代につなげていく取り組みを開始。むなかたオープンキッチンMOK（モク）では、生産者と消費者とがダイレクトにつながる、料理教室プログラムを開催。生産者の「ひっさつわざ」である旬のおいしい食材と、その調理方法をセットにしてお届けします。第一回目となる9月の食材は鐘崎の秋いか。旬の味覚をお楽しみください。料理教室はオンラインでも配信いたします。



さとの4 生活利便施設プレオープン！「ひっさつわざ」が活躍できる「さとづくり」始動！



11月3日文化の日に合わせて、日の里団地生活利便施設がプレオープンいたします。当日は宗像 JAZZ フェスティバルも同エリアにて開催。クラフトビールと心地よい音楽に身を委ねながら、生まれ変わる日の里団地のこれからを特別授業で発掘した「さとの、ひっさつわざ」ともにご紹介いたします。

